合併一年 元気な皆さんに聞きました！

市民の皆さん、明けましておめでとうございます。今年のお正月は高島市にとっても満1歳を迎える記念すべき新年となりました。

そこで、新年号の巻頭特集として、昨年、様々な場面で活躍された方や記念すべき年となった皆さんにインタビューをさせていただきました。

昨年はどんな年だったかを振り返ってもらい、新年の抱負と高島市に期待すること、高島の目指す「環（わ）の郷（さと）」についてお聞きしました。

質問

❶「合併して1年が経ちますが、昨年はどんな1年でしたか」
❷「新年の抱負を教えてください」
❸「高島市に期待することや夢を教えて下さい」
❹「あなたが思う"環の郷"は、どんなまちだと思いますか？」

◆昨秋10月、待望の学校給食が始まった"朽木小学校"の保健委員6年生の皆さん

●今北　哲平さん、梅本　瞭さん
羽渕　良美さん、山浦　美紀さん
（朽木：小学6年生）

❶ 村から市に変わったけど別に何にも変わらない。
6年になって、低学年の子とかの前でちゃんとしゃべれるようになった。あと、スポ少の野球チーム"トトルズ"が初勝利をしたのが嬉しかった。
昨秋から給食が始まったけど、お弁当は嫌いな食べ物が入らんし、お母さんが作ってくれるのが好き。給食はご飯が温かいのが嬉しい。ワッフルとかデザートが付くし、嬉しいです。

❷ 来年は早寝早起き出来るようになりたい。勉強とか運動とか苦手な分野が出来るようになりたい。

❸ 新しい建物を作ったり、ダムの工事が進んでいて自然が減っていると思う。だから、自然が減らないまちになって欲しい。あとは犯罪者のいないまち、ごみの出ないまちにして欲しい。僕らは帰り道でごみが落ちてたら、拾います（たまにだけど）。

❹ みんなが仲良し。みんなで助け合ってるまちだと思う。

◆環境こだわり農産物で、滋賀県優秀農家表彰"滋賀県知事賞"を受賞。新しい夢アドベリーも育てておられます。

●梅村　元成さん（安曇川町四津川：55歳）

❶ こだわりの米作りが表彰されたり、若い子が手伝いに来てくれて一緒に仕事をしたり、とても充実した1年でした。米作りでは農薬を使わない栽培に手応えを感じた年でした。また、栽培者として当初から携わっているアドベリーの記念すべき初収穫の年でもありました。

❷ アドベリーにはまだ誰もやっていないことをやっているという夢があります。
その関係でお世話になっているニュージーランド・ネルソンの人との信頼関係も出来ているので、個人的には英語をしゃべれるようになりたい。この年になってから英語の勉強をする気になったのもこれのおかげです。有り難い。

❸（アドベリーは）今は試験的栽培ですが、今後、市内全域に拡がって高島地域の特産品として育って欲しいし、真剣に取り組んでいます。
高島は高島の良さを生かして、街ではできない自然に順応した自然循環型農業を高島の農として立ち上げたら良いと思う。市になった今、全国に発信できる期待が持てるようになった。そんな風に進んで欲しいし、進まなあかんと思っています。

❹ 今どうしても人と人とのつながりが薄れがちだからこそ、大事にしたい。ネルソンでは、会う人が皆あいさつをしてくれた。もの凄く暖かくって、当たり前の「ハロー」がある事に感動しました。高島もそんな思いやりのあるまちになって欲しいと思います。

◆全国青年大会演劇の部で最優秀賞を受賞された演劇「プラットホーム」主演女優。現在、演劇集団つばめで活躍されています。

●住友　亜也子さん（新旭町新庄：19歳）

❶ とにかくバタバタしてました。春から社会人になって、それに加え高校から続けている演劇を頑張ってきた。特に演劇は、劇団として独り立ちした年だったので本当に大変で、色んな意味でスタートの年でした。（今回最優秀をもらった芝居は）一つの作品をこんなに長くやったのは初めてだったけど、確実に成長できたことを実感しています。あと、県の青年大会で優秀な成績を取れた時、なんかすごく市になったことを実感しました。

❷ 劇団の中で、もっと自分の役割を自分で見つけたい。まだまだ代表に頼りっきりなので、頑張ります。役者としてもまだまだ…。でも、また全国大会に行きたい！

❸ 多くの人に自分たちのやっていることをもっと知って欲しいし、気軽に遊びに来て欲しい。どんな活動も自己満足では駄目だと思うので、みんなが気軽にワイワイ活動できるまちになって欲しいです。

❹ 言われて初めて気づく「そういえばこれもそうやなぁ」って思えることが出来てるまち。
「こうすればこうなる」と計画立ててすることも必要だと思うけど、自然に出来てることが環の郷だったら素敵だと思います。自然体であるがままにつながっているまち。

◆滋賀県商工会女性部主張発表大会で最優秀賞受賞。近畿大会にも出場されたマキノ魚末商店の奥さん。

●小谷　みち江さん（マキノ町海津：66歳）

❶ 商工会の発表で市大会、県大会そして近畿大会まで行かせてもらった。始まりは、春に出会ったお客さんの「ここは桜だけやなぁ」の声。とにかくきれいなマキノにしたい、それが全てでした。まちを美しくとの思いから、桜の季節に足下にも花を"さくら草"の取り組みを始めて、女性部の皆さんや家族が総出で手伝ってくれました。小さな事業やけど一人では出来ん、皆の力があって出来たこと。それを発表してきただけです。

❷ 100の愚痴よりも10の提案、10の提案よりも1の実行をこれからも続けていきたい。さらさらと流れる川を一番きれいにしたいです。私は美しいマキノを残したいと心から常々思っています。

❸ こどもが外でのびのび遊べることが大事やと思うので、昔あった集会所の卓球台のように、年寄りも子供もまじってみんなが揃って遊べる場所が欲しい。

❹（この小売業は）80年から続いていますが、皆さまのおかげです。感謝しています。今は家族4人が一つになって切り盛りしている。家族がばらばらの生活をしていては絶対に駄目。何でも話せる家庭があって、家族の和がある。環の郷もつまりてこそ世間の和がある。家族あっ家族が一番やと思います。

◆高島市内最高齢の中村さん、毎日元気で現役です。

●中村　政市さん（高島市武曽横山：107歳）

❶ 80と27歳（107歳）になりました。今は仕事もしてないですし、足も痛いのでゆっくりと過ごしてます。昨年の想い出といっても、親類と一緒に温泉に行ったことぐらいかな。昔のことは今でも良く覚えてます。戦争時分にトンネル（炭坑）の中で仕事したこと、松茸山のこと、大阪から飛行機に乗ったことなどよう覚えてます。

❷ 新しい年といっても、年にはかないません。地域の運動会なんかに行くと、連れが皆いんようになるのが寂しいですわ。（じゃあ、元気の秘訣は何ですかという問いに対して）特に何もないです。ただ好き嫌いはしませんし何でも食べます。

❸ この辺りでも、昔100程あった家が60程に減りました。道は広なったけど、家は減った。私らみたいなもんはもう良いけど、若い人に仕事があるようにしたって欲しい。難しい仕事でも力仕事でも何でも良いし、この辺で働けるようにしたって欲しいです。

❹ 昔の山の木には精力があったけど、今はない。松茸山を管理する時は、20年もの計画を立てて、いっぺんに採り過ぎんようにします。人の勝手でやったら何にも上手いこといきません。そんなことやと思います。

◆昨春の春季近畿地区高校野球大会で準優勝！チームを支えた安曇川高校野球部元主将

●山口　淳司さん（今津町深清水：高校3年生）

❶ 部員は約50人。大人数なので上手くまとまらない時もあって、しんどかった。でも、やる時はやる仲間だったので、勝っても負けてもその時の気持ちをチーム全員で共有できたので嬉しかった。昨年一番嬉しかったのは、ホンマの地元のもんだけで結果を残せたこと、そしてみんなと一緒に最後まで頑張ってこれたこと。

❷ 今年は高校も卒業して新たなスタートを切る年。自分の中で野球は高校生活の8割から9割を占めていたと思う。だからこそ、高校野球で培ったものをこれからの大学生活、社会生活に役立てていきたい。

❸ 社会人野球クラブが設立された話があるけど、素直に嬉しい。スポーツが盛んなまちになって欲しい。

❹ 幅広い年齢、お年寄りからこどもまでふれあえるまち。若者は年寄りのことが解らない、年寄りは若者のことが解らないじゃなくて、お互いに理解しあって過ごせれば良いと思う。
あと、今、祖父ちゃんが柿や農作物を作っているけれど、そういう都会にない生活って良いと思う。農業とかそこで感じる季節感を無くしたくないし、誰かがやらなくてはならないと思う。